

「迷い捨て転換を」

多治見市で
文化教養講座 保寿院住職が講演

東濃信用金庫のとうに見る「こころ」と題して講演した。

文化教養講座が、多治見市虎溪山町の同施設で開かれ、保寿院の虎山住職は「苦しみが頭の中で作り上げた山義秀住職が「こころ」を捨てる一般若心経」を捨て、自分を捨てることをしつかり認識すること、



師に招いた「こころを育てる」をテーマにしたシリーズの5回目で、市民ら約50人が受講した。(野中準二)

「こころを捨てる」といというのが般若心経の神髄であり、心の道しるべ。自分の中の迷い、欲望を捨てて転換すれば、幸せを感じることができると心の持ちよりの大切さを説いた。

講座は虎山住職を講

題して講演する虎山義秀住職。多治見市虎溪山町、とうしん学びの丘エール